

児童の安全対策について

1. 課題

- ・小学生、特に低学年の通学が最長で約 1.6 キロとなり、通学に時間がかかる。
- ・体が小さく、交通事故に遭う可能性も高い児童に負担が大きいという意見が多い。

⇒学校再編にあわせて学校選択制の導入を実施予定。

⇒大阪市教育委員会の基準（児童生徒に対する公共交通機関利用に係る無料乗車証交付要綱）としては「2 kmを越す場合」に、スクールバス等の検討を行うので基本的には生野区の場合は該当しない。

⇒例外的に西成区のいまみや小中一貫校で「学校周辺の環境改善が終わる 3 年間限定」でスクールバスを走行させた実績もあり、各種事情による独自基準はありうる。

2. 生野区西部地域における独自の通学手段確保に向けて

(1) 新たなコミュニティ交通の検討

(2) 大阪シティバス（既存の都市交通）の活用の検討

(3) 集団登校とスクールガードリーダー（有償）による安全確保の検討

※帰宅時の安全確保について

⇒いきいきからもと小学校までの集団下校が可能となる手法も検討